土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1-明飛川	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 36.5755″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月14日～ 令和3年 1月18日	東経	132° 32′ 58.2596″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 101.80m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂		暗褐	rd2		細～中砂を主体とする 径2cm以下の礫を少量混入する 細粒土分を20～30%含有する	
2	99.90	1.90		礫混じり砂		灰	rd3		中～粗砂の砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～40%混入する 細粒土分を10～20%含有する 部分的に礫の混入が多くなる GL-2.50m付近にL=10cmの玉石が混在する	1/14 2.40
3						灰褐				
4						褐				
5	96.50	5.30		花崗岩		淡灰褐			CM級岩盤 L=5～10cmの短柱状～柱状コアで採取する 潜在亀裂が多く亀裂面に沿って土砂～細礫化する 亀裂面は淡褐色に変色している 部分的に径3cm以下の岩片状コアとなる	
6										
7										
8	93.80	8.00								
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.15	2	2	1	5		
5	1.50			150	350		
	2.15	3	6	13	22		
22	2.48			130	330		
	3.15	8	6	10	24		
24	3.45				300		
	4.15	6	6	8	20		
20	4.45				300		
	5.15	12	38		50	150	
50以上	5.30		50		150		

試料採取

深度（m）	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日：1/14　1/15　1/18